

平成 29年度 第4回 介護・医療連携推進会議 記録

● 事業所情報

法人名	株式会社エイプレイス
事業所	エイプレイス新宿

● 開催日時・場所

日時	平成 30 年 3 月 20 日 (火) 14:00~15:00
場所	新宿コスミックスポーツセンター 3階 小会議室

● 参加者 (順不同)

NO	所属 (役職)	氏名
1	ケアサービス〇〇 管理者	A 様
2	〇〇ホームヘルプ サービス提供責任者	B 様
3	訪問看護ステーション 〇〇 理事長	C 様
4	訪問看護ステーション 〇〇 管理者	D 様
5	訪問看護ステーション 〇〇	E 様
6	〇〇訪問看護リハビリステーション 管理者	F 様
7	〇〇訪問看護ステーション 所長	G 様
8	〇〇訪問看護ステーション 介護支援専門員	H 様
9	〇〇訪問看護ステーション 事業部長	I 様
10	〇〇高齢者総合相談センター 相談員	J 様
11	〇〇高齢者総合相談センター 相談員	K 様

● 議事

NO	議事内容
1	法改正に伴う定期巡回の変更点
2	運営状況
3	事例 I
4	質疑応答
5	意見交換

● 記録

議 事 1																																																							
	<p>●法改正に伴う定期巡回の変更点 https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000164645.pdf</p> <p>厚生労働省 HP より 「介護給付費分科会」資料</p>																																																						
議 事 2																																																							
運 営 状 況	<p>1、 H29 年利用者推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>3 月</th> <th>4 月</th> <th>5 月</th> <th>6 月</th> <th>7 月</th> <th>8 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>31</td> </tr> <tr> <th>9 月</th> <th>10 月</th> <th>11 月</th> <th>12 月</th> <th>1 月</th> <th>2 月</th> </tr> <tr> <td>32</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>2、介護度別利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要介護 1</th> <th>要介護 2</th> <th>要介護 3</th> <th>要介護 4</th> <th>要介護 5</th> <th>平均介護度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 名</td> <td>6 名</td> <td>5 名</td> <td>6 名</td> <td>8 名</td> <td>3.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>3、コール回数、随時訪問回数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>随時対応数（コール数）</td> <td>20 コール</td> </tr> <tr> <td>随時訪問数</td> <td>3 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>4、随時対応の内容</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>サービスの時間変更等 ご家族より相談</td> <td rowspan="2">コール のみ</td> <td>12 回</td> </tr> <tr> <td>誤報</td> <td>5 回</td> </tr> <tr> <td>排便が出た、トイレにいけない</td> <td>訪問あり</td> <td>3 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>5、看護サービス提供状況</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>介護保険</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>医療保険</td> <td>3 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>6、年間看取り者数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>H29 年 3 月～H30 年 2 月 末</td> <td>18 名</td> </tr> </tbody> </table>	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	24	27	29	28	28	31	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	32	34	32	28	29	30	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度	5 名	6 名	5 名	6 名	8 名	3.2	随時対応数（コール数）	20 コール	随時訪問数	3 回	サービスの時間変更等 ご家族より相談	コール のみ	12 回	誤報	5 回	排便が出た、トイレにいけない	訪問あり	3 回	介護保険	12 名	医療保険	3 名	H29 年 3 月～H30 年 2 月 末	18 名
3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月																																																		
24	27	29	28	28	31																																																		
9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月																																																		
32	34	32	28	29	30																																																		
要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度																																																		
5 名	6 名	5 名	6 名	8 名	3.2																																																		
随時対応数（コール数）	20 コール																																																						
随時訪問数	3 回																																																						
サービスの時間変更等 ご家族より相談	コール のみ	12 回																																																					
誤報		5 回																																																					
排便が出た、トイレにいけない	訪問あり	3 回																																																					
介護保険	12 名																																																						
医療保険	3 名																																																						
H29 年 3 月～H30 年 2 月 末	18 名																																																						

7、主となるサービス内容

要介護 1～3	内服介助
要介護 4～5	排泄介助

8、事業所状況

常勤専従	0名	オペレーター	7名
非常勤専従	0名	計画作成責任者	5名
常勤兼務	13名		
非常勤兼務	3名		

9、委託状況

(1) 連携事業所

看護連携事業所数	17事業所
介護連携事業所数	24事業所

(2) 委託割合

2月1ヵ月 8時～18時の間	26%
----------------	-----

議
事
3

事
例
I

92歳 男性 要介護度5

H30年1月31日担当会議。契約と訪問介護からの引き継ぎ。

- 往診はDr。クリニックの診察後対応の為夜中訪問。必要に応じて点滴を実施。抜針もDr。
- A看護事業所より、褥瘡悪化防止の為定期的な体交の指示。嚥下機能低下の為誤嚥注意。

H30年2月1日～サービス開始

- 0時台、5時台、8時台、12時台、16時台、21時台の訪問を検討。ご本人の了承を得る。
- 深夜の訪問はご本人が首を振った為削除。

H30年2月1日11時、担当CMへ連絡。

- 訪問時間と訪問した内容を報告。訪問頻度については本日訪問してご本人の意思を確認するとの事。
- 17時担当CMとAP職員が訪問。8時台、12時台、17時台、20時台へ変更。

H30年2月2日10時、担当CMより連絡

- ②夜間点滴した際の抜針を看護に依頼したが、担当者不在。急を要する為B看護事業所変更へする。
- 急遽17時より担当者会議開催予定。

17時、担当者会議開催

- 看護は週1回。夜間の抜針の対応可とのこと。
- 週1回の訪問で調整。

H30年2月5日、ご逝去

- 看護の初回訪問時に血圧測定不可。看護師が見守る中、亡くなられた。

- 弊社の対応（看護事業所の選定、連絡調整等）に不備はなかったか。
- 定期巡回サービスの説明が担当CMに対し不足していたのではないか。
- A看護事業所とCMとの関係性について

	<p>【意見および質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間じゃない時間で調整がつかなかったのか？ *点滴は日中の方が負担が少ない ・医療者が老衰の見立てをするべきであり、特指示も出たのでは？ *がんの末期でないと、特指示が出ないと思ってた訪問診療もいた。 ・なぜ医療保険での適応ができなかったのかが気になる。 ・生活保険なら負担が少ない。 ・金銭面でどのような点が心配だったのかが気になる。 ・APが看護を指定したのはなぜか？ →CMに看護の指定があるかを訊き、どこ連携しているか逆質問され、リストアップした物をお伝えしている。 <p>(APから訪看の方へ質問) 夜中に看護が動くことは多いか →原則、夜中にはいかないようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、皮下点滴なら朝まで待っても問題ないのでは？
議 事 4	
質 疑 応 答	<ul style="list-style-type: none"> ・定期巡回事業所同士の交流はあるのか →無い。在宅介護の連絡会にAPもジャパンケアも入っている。 ・定期巡回は東京以外で多いサービスなのか →行政の積極性による
議 事 5	
意 見 交 換	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬面についてももっと考察し、使いやすくなった方が良いサービスだと感じた。 ・本当に定期巡回を使うべき利用者様なのか迷うことがある。 →1日に何回も入れるメリットを生かせるように検討いただければと思う。 ・ターミナルの利用者様のケアを、 回数調整しながら最後まで自宅で過ごせるようにするのは良いと感じた。

- ・看護小規模多機能型とどちらが良いか迷う。
- 通所などを入れるとかえって負担になりそうだし・・・。

- ・サ責から現場への伝達で、伝わり切れていないことがあるのでは。
(毎日入っている現場の情報は看護からしたら非常にありがたい)
- クラウドサービスを使ったり、良いコミュニケーションの手段を模索中

- 同じ定期巡回でも違うサービスかと思うくらい、事業所ごとにサービスのばらつきがある。
- (例) 介護度が低い利用者様
服薬+ α を依頼した場合。
事業所 A: 報酬との兼ね合いで、とてもじゃないけど(+ α)はできない。
事業所 B: 柔軟な提案
- (サービスのばらつきを事業所の差だと把握)
定期巡回自体が使いにくいと思われてしまうことがあるため、
事業所の差だと認識してもらえるのはありがたい。

- ・月一回しか看護で入らず、一か月分の連絡ノートの内容を一気に見て状態を把握するため、
欲しい情報をこちらから提案する必要があると考えている

議事録作成

小林翔多

以上